大正十四年二月五日發行

# 婦人衛生雜誌

第三百七十六號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 婦人衛生雜誌

## 第三百七十六號目次


### 講演

○記憶術と記憶練習法　醫學博士　三宅鑛一述

### 養談

○顏の保健　醫學博士　賀川哲夫述

○肺結核治療の社會的施設　醫學博士　篠原昌治述

### 育兒

○子供と炭火　醫學博士　三田谷啓述

○乳兒榮養品調理方　醫學士　樫田五郎述

○兒童と眼鏡　莊司秋次郎述

### 家庭衛生

○日本の炬燵　醫學士　後藤秀兵述

○肺結核と轉地療養　醫學博士　內田平次郎述

○鍼と按摩　醫學博士　林喜作述

○瀉血と萎縮腎　醫學博士　安森連吉述

### 雜報

○宮內省救療所

○ルーマニア婦人の長壽

### 會報


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百七十六號
（大正十四年二月五日發行）

# 記憶術と記憶練習法

醫學博士　三宅鑛一述

本篇は「記憶障碍の診斷及び其療法」と題し實驗醫報の爲に三宅博士が講述されたるもので記憶障碍の意義、種類原因、からその診斷法、試驗法及び療法に亙つて詳述され、實地醫家の爲には非常に有益な又興味あるものですが、本誌の讀者には稍々專門的に傾いて居りますので、大部分割愛し「記憶術と記憶練習法」と云ふ最後の一章を掲げて御參考に供する次第であります。（編者）

## 記憶術と記憶練習法

記憶療法の一としての精神療法には、尙は色々あるが普通用ひらるゝは、記憶術と記憶練習法である。而して後者記憶練習法は、その中最も有效なるもので、これには又色々の方法があるやうであるが、その一法に就きて左に略述しやう。

元來記憶減退を最も苦痛に感ずる場合は言葉、人名、數、時、月日を忘れる場合である。それは前記の常人の老年に來たる普通の記憶減退の際に認めらるる部分性記憶減退の稍々強く起つたものと看做すべきである。その他には僅に追想の異常を示す型もある。

而してそれ等の場合にこれを補強する目的に用ひらるべきは記憶練習法で、それには、先づ第一に注意の練習より始むべきである。殊に聽覺と視覺の注意の強壯法を行ふべきである。この聽覺的記憶を強くする方法としては或補助者をして數秒時の間隔に於て、一個の數字を平等の速さと等しき音調とを以て明かに云はせ、被術者はその刺戟を十分なる注意

を以て確かと理解するに慣らすのである。即ち注意練習法である。その後ち、同一の試驗を反復してその數又は文字の聽覺的刺戟を明瞭に理解し、又これを容易に記憶すべきやうに訓練するのである。勿論初めは單に一個の數の記憶であるが後ちは多くの數を覺えさすのである。

次いでその聽覺的刺戟を再生する練習に移るのである。それには患者が言葉を聽きたるとき、直ぐ、それを繰り返へすことを行ひ、後ち、數分の後、又は數時間の後ちに、これを追想することを馴らし、後には一ケの數でなく多くの數を追想することを練習するのである。斯くすれば自然と記憶すべき數を聽くときは直ちに、別に注意せむとせずとも自らそれに注意が向き、後日再生すべきやうに準備せらるる練習となるのである。

これと同じく視覺的刺戟に對する練習法も同樣に行へば良いのである。それには第一に被檢者が視覺的物品に對して十分の注意を集中するやうに心がけ或ものを十分に注視するやうに訓練するのである。後ち、一定の間隔をおきて屢〻これを繰り返しその終りには多數の數字又は文字列を視せ、又初めは印刷したる大なる文字を見せ、後には鮮明に書きたる肉筆の文字を見せ、これを確に見るやうに視覺的注意の練習を行ふのである。その後その視覺像に對する追想の練習となるのである。即ち視たるものを種種の時間に於て再生せしむる練習である。

その次ぎには理解の早さの練習を行ふのである、即ち初めは數個の數字又は月日を遲く話し、又は聽かせ、或は見せて覺えさせ、後ちにはこれを早く見せ、又は聽かせその各を再生せしむるのである、殊に漸次早く見せて覺えさせこれを再生するやうに訓練するのである。これがためにその試驗に手加減でその刺戟物を見せてもよし、又は「タキストコープ」又はランシェブルグ氏記憶計（「ムチモメーター」）などゝ云ふ特殊の器械を用ひてもよい。殊に後者を用ふることは結果が宜しとせらる（それ等の器械のこ

とは拙著精神病診斷學下卷に記してある)。

又若しその治療を受くべき人が視覺的記憶型なる人であるならば、耳にて聽き記憶すべき數を、視覺的に移して覺ゆることに慣らすことも利益である。例之、文字、言葉、數、電話番號、所番地、月日等の數を覺え込まむとする際には、先づこれを視覺に告へ、それを視覺的に追想せしむるやうに練習するのも一法である。

扨て以上の如き方法によりて、數の記憶が不良なる人殊に相當に年齡の進みたる人にも、これに前記の法を行ひ相當好成績を擧げうることがある。記憶術の或種のものは效能の無いのがある。例へば數字、月日を覺ゆるために、その各數字の頭文字を取りて子音を作くり、その子音を以て何等かの論理的關係ある言葉を作くり、これを覺ゆることによりて數を覺ゆる方法の如きは無益である。何となれば元來記憶の減弱せる人には單に數字の記憶が惡いのみでなく、言葉の記憶も既に惡いからでその多くは内容だけを覺ゆるものであるからである、卽ちその人に數字の代りに言葉で覺えさすことは何の役にも立たぬのである。一般に記憶術はその人の注意力、聯想力の強く確で、又疲勞せぬ事などが必用で病的健忘症等には餘り向かぬのである。扨て斯くの如くにして以上の如き方法により、普通人の最も覺え難い數、時日、番地、電話番號の記憶を確かにすることを得又その追想も樂にすることが出來たなら同樣に人の顏容人名の記憶も系統的に練習することが出來る、例へば後者の場合には豫め練習用に人の肖像畫多數を切り拔き置きその一葉を一分間づゝ見詰めて覺えさせ、先づ注意と記銘の訓練をなし、後ちその刺戟時間を短縮して早く見ることに慣らし、次いで追想の訓練をなすのである、卽ち數秒間又一分乃至一時間前に見たものを逐次追想せしむるやうの訓練をなすのである。又初めは二、三の肖像を辛ふじて覺えたものが後には多くの肖像を同時に覺えるやうにすることも出來る。又初めは非常に違がつた人の顏

を覺える樣にし、後には似た顏の區別も覺えるやうにも訓練さすことも出來るのである。

斯くして、周圍にある人、知己肖像を覺えるやうに馴らし一度見た顏は後日必ずこれを追想すべきやうの注意を以て觀察することに慣らすことが出來る又その顏と名とを結びつけて覺える方法としては豫め多くの人の寫眞と人名と書いてあるものを見せ、殊に初めは一個の肖像をその名と共に長く注意して見せ、後ちにはその人の名を讀み又は聽きたるときはその人の形を直ちに思ひ出だすやうに練習する方法もある。又それ等の試驗の際、若し誤りたる追想をなすときは直ちにこれを訂正するやうに練習すべきである。右と同樣のことは尙ほ甚だ多くあるが餘り煩はしき故にこれを略す。以上を以てこの種練習法の大體の要領は判つた筈である。

記憶訓練法實施に就ての注意

玆に記憶訓練法を實際行ふときの注意二三を擧ぐれば、先づこの種の治療を受くる人は疲勞して居らぬときに限る、されば日中過度に働きて疲れ夜も十分眠ることも出來ぬやうな人ではこの種の療法を行ふことは、その如何なる方法たりとも、全然無意義である。即ち斯かる精神療法はその人が他は頗る強健で單に記憶の減退を覺ゆる人に限る。又記憶減退症を來たすべき原因あらばその治療を先きにすることが必用である。又それ等の缺陷が癒ほりいざ記憶增進法を始むる場合には、又再び精神を過勞せしむべきことを避けねばならぬ。又記憶增進法を行ふときは精神の安慰な時に限ぎり、又記憶增進法は智覺―注意―理解力の增進による記憶强壯法であるからそれ等の力が先づ健全でなくては始められぬのである。若し智覺、理解などの作用が完全になると單にそれのみで記憶薄弱の大部が補ひ得ることがあると考へらる位である。從つて先づ注意力を銳くすることより着手すべきである。

又その練習は、初め一日に、十五分位行ひ、殊に朝早くこれをなすのがよい。前夜能く眠たときに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

行ふのがよい。食後直ちに行ふのは悪い。夜遅く試むることもいけぬ。又初めのうちは少なく行ひ、後ち、十五分間の練習を二回行ふのもよい。又慢性に記憶不良の起つたる場合、又は極めて慢性となれる場合、乃至はその生來性なる場合には、それ等の人に對して記憶療法を行ふことが尙ほ價値ありやを疑ふことがある。併し、丁度生來身體の虚弱なる人又は或病のために薄弱となれる人が、行き屆きたる注意のもとに行はるゝ體育法と適當なる生活法は再び强壯なる人となし得ると同樣記憶障碍の慢性のものでも、治ほすことが出來るのである。但しその際には、必ずその前提として、單に記憶に對する精神療法のみならず、身體上又は精神の一般衞生法の必要なること及びその人の持つて居る精神的「エネルギー」以上のことは出來ぬので卽ち記憶練習法は唯その人の有する力を利用して行ふ方法に過ぎぬものと考へねばならぬことである。從つて又記憶異常が精神的原因殊に注意散亂症、注意不統一症のために來たり又は心氣性恐怖殊に少年に多く認めらるゝ手淫に原因するとき、乃至は感情性、又は病的思慮涸出症或は「コンプレッキス」(複錯)作用のために起これるものはその原因を除くことが頓てその病症を治ほすことゝなる。併しこれにつきフロイド氏の云ふ如く夢判斷、精神分析法などを必要とするものではない。

### 記憶減退の豫防

扨て以上述べたる如く、記憶減退症は個性的差異により各人甚だ大差があるが、一般の人に對する豫防法も亦必要である。而してその豫防法としては各人の發育期、卽ち、小兒期又は學齡期に於て、濫りにその頭腦を酷使せぬやうにすることが第一である。卽ちその折に過度に精神を使へばその結果として生涯取り返へしのつかぬ記憶減退症を來たす虞がある、されば小兒に學問を敎ふるにしても兒童がこれを覺ゆることに苦痛を感ぜざる程度に於てこれを敎へ導くべきである。殊に外國語等の暗記物を敎ふ

るときには小兒はこれを面白くなく感じ無趣味に思ひ面倒で困難で不快に感ずる人がある、又これにより過度の努力をなすことは將來の記憶減退を惹き起こす原因となることが多い。從つてその折は唯快感を以て樂に覺えられる程度に於てのみ害なきものと考ふべきである。斯かることは、殊に劣等低能兒又はその他特殊兒童の敎育の際に殊に注意すべきことである。從つて又器械的に記憶せしむる敎授法は可成避け直觀敎授法を一層廣く行ふべきである。將來我國の敎育に於て然りである。

是等の關係上如何に兒童をして記憶せしむるが最も頭を費やさずに濟むかと云ふ所謂記憶の經濟なることを多くの敎育心理學者は研究した、その實驗の結果左の如き事實が生れた。今一般醫師の參考になるべきこと二三を述べやう。

### 記憶の經濟

記憶の經濟は、(一)、暗誦の分割法である。これは殊に暗誦の困難を覺ゆる人に適する方法で、卽ち覺ゆべきところを一遍に全部覺えむとせず、多くの部分に分ちて覺ゆるのである。殊に興味なきところ、又は意味なきところで覺え惡くき部分は、これを多くの部分に分ちて、その一部分づゝを暗誦し、後ち全部に纏めてこれを覺ゆるのが經濟的であると云ふことである。この分割暗記法は覺ゆべき時間と精力とを利することが多い、斯くすれば又久しく覺え居ることが出來るのである。

(二)第二には、暗誦の際繰り返へす割合は一定の度合にするのが利益である。卽ちその繰り返へし方を一度に五十回繰り返へすよりは、第一日には二十回反復して大體のことを覺え、次の日には又十回反復して前日に覺えたことを明瞭にし、その後は暫らく止め、數週の後ち五回或は十回と反復して、既に忘れかけた所を確め、これを再生し易きやうに準備す、更に最後の十乃至十五回は數ヶ月又數年の後ちオサライの意味に於て一、二回繰り返へすのである。これに反して、五十回引き續き一度に反復して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

讀むことは、覺ゆる上に於て損である。又、分割法も短時間にこれを行ふと短き間に忘れるものである。但しこれは學ぶべきもの丶内容により多少は異なるが、大體に於ては以上の事實は皆共通なる必要の事柄である。

(三)第三に又暗記をするとき、單にこれを反復するのみでなく、その間にこれを時々内省し、疑問を起こして進むことは更に利益である。卽ち斯かる方法によつて、その練習の結果を甚だ増すことが出來る。又この方法によりて、些細な點に注意が屆き、細かき所を覺える特長がある。又これにより後に反復すべきときの注意が増し記憶の經濟となるものである。又記憶の殊に困難なるところはその所を拔き書きして別にこれを覺ゆることがよい。

(四)又讀み方には初め第一回讀むときには深く注意してこれを讀み、その後ちは徐々に讀み、終りには又早くこれを讀み下だすやうにすることは、注意を用ひずに、唯口先きでの朗讀法、卽ち、感覺性又は運動性朗讀法と稱すべきものに勝ること萬々である、後者の如き方法は終りの反復時に於ても、これを採るべき方法でない。

(五)又記憶増進の目的により記銘の度び毎に不必要なる運動を行ひ、その運動に結び附けて、或ことを覺えむとする人があるが。そは效果は乏しい。例へば或言葉を覺えむとするに、その暗誦の度毎に頭を動かし、又は手足にて調子を取る如きことをなし、或句を覺ゆるときに、一々、室内を歩き又は室の戶を開け閉て、又その戶口を出入する如きことを試むる人がある。然しこれ等の運動を以て記憶を深くすることは到底出來ない、後日追想せむとする際にその行爲の反復によりて更に追想をなすことの出來ぬ人が多い卽ち本法は效能がない方法である。

又その他記憶の衞生法として平素精神作業の分配法を考ふることが必要である。卽ち精神を多く働かす人は休みのときは可成、平素の職業的作用より心を遠ざかり、常に心を冷靜にし安穩に保ち新たらし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

き刺戟の來たるとき、これを正確に獲得するの準備をなし置くことが必要である。又一般の過勞を避け身體の健康を保持することに心がくることが必要である。

以上を以て本文を終りとする。

## 叢談

### 顔の保健

醫學博士　賀川哲夫述

美しい顔！、これこそ男女の別なく若い女に向つて求める所の第一の要求であります。女から謂へば男に向つて此の要求を滿足させ得た者は許多の女の中の勝利者であり、男から謂へば美しい顔の持主を得た者は許多の男の中で最も得意なる者の一人であります。斯う謂へば「美しい顔」ほど男女の幸福を支配するものは恐らくほかにはないともいへませう。

幸福の支配者！、否若し女を主體として見るならば、私は更に一步を進めて「幸福の源」と申しませう昔から言ひ古した「氏なうして玉の輿」も矢張り女を主體として其幸福を通俗的に說明敷衍した詞であります。これを以て見れば、女の身體のうちで最も大切な所は顔よりほかにはないと謂はなければなりません。故に顔の保健は女として生命の保全と同じ程度の重大さを持つて居ります。

「美しい顔」の持主とならうとするには、どうしたらよいか。これは多くの婦人が最も熱心に索め探して居る生存の秘鍵であります。私は今此秘鍵を皆樣にお渡しするに當つて先づ「美しい顔」の本統の意味をお話しなければならぬ。

「色の白きは七難匿す」といふ通り、色の白いといふことは勿論美人の具へてゐなければならぬ一ヶ條ではありますが、どうせ有色人種に生れついた日本

人であれば、白いといつた所で黒くない、黄色でない位で我慢しなければならぬのみならず、白粉といふ武器があつて、これを巧に使へば、少し位は胡麻化しがきくものでありますから、白いか白くないかは餘り重大な問題ではありますまい。それよりも肝腎なことは、顔の形と皮膚の性質とであります。若し此二つが揃つて惡るかつたらば、如何に巧な化粧を行つても、人を惹きつけるやうな美しさは望まれません。殊に皮膚の質が緻密でなく、ざら〳〵して居ると、白粉の上りが惡く、厚い所や薄い所が出來て、斑に色取られた顔が出來上り、笑へば龜裂が入つたり、剝がれたりすることがあります。然るに皮質の細かな人では、白粉が均等に展びて皮膚としッくり喰い合い、白粉を透かして皮膚の天然の色合が浮き出で、白い内にも美しい血色が見えて、何とも謂へない心地の良い顔が出來るものです。そして其上に顔の形が整つてゐれば、天稟の美と化粧の效果とが巧妙に合致して理想的の美しい顔となるのであります。

そこで顔の保健は形を整へることゝ皮質を良くすることゝの二ケ條に過ぎないことが解ります。然らばそれにはどう云ふ方法を行へばよいかと申すに、顔の形は生來的で如何ともすることは出來ませんけれども、一定度までは自由に整へることが出來るのであります。但しそれは若し醜ければ醜くなくし、若し醜くなければ更に一層美しくする位の程度であります。これには勿論色々の方法がありますが、最もよいのは顔面「マッサージ」を行ふことであります。

「マッサージ」は皮膚の榮養を良くし、皺襞や弛緩を消し、適度の脂肪を沈着させるから、乾燥した皮膚は濕味を帶び、血色が現はれて光澤を帶び、顔全體が緊張し活氣を表はして來ると同時に窪みの所は高まり、高過ぎてゐる所は低くなり、輪廓が整つて來て誠に氣持のよい形となるものです。今日東京では諸所に美顔術、美容術といつて盛に流行してゐる

のは矢張り「マッサージ」を應用するのでありますが皮膚病學を專門に研究した醫師が監督してゐるのではなく、多くはフランスやアメリカ邊りの床屋又は化粧院で行はれてゐる方法に倣つたものでありますから私共から觀れば勿論完全なものではありません。老年の爲に出來た皺襞を消す「マッサージ」などは一人一人の筋肉の發育程度や榮養狀態を參考して骨まで達するほどの強い力で行はなければ效がないのですから、顏面筋肉に就て充分の知識を持つ醫師でなければ、良い成績を上げることは出來ません。又日本人の顏は何人でも左右半分宛が同じ形ではなく發育の狀態も違つて居るものでありますから、從つて左右の筋肉、血管の有樣が違い、脈の打つて居る場所が同一でないことが多い爲に血管の解剖學をも一通り心得て居なければなりません。

特別の目的がない場合は每日十五分間又は三十分間位「マッサージ」を行つて、少くとも五六週間は續けなければ效がありません。併し何か特別の目的を以て「マッサージ」を行ふときには、其目的の如何に依つて條件が定まるのでありますから一概に謂ふことは出來ません。だから今日多くの婦人が試みて居るやうに時折氣紛れに美容院を訪れたのでは決して效果のないことは勿論です。尙ほ顏の形を整へることに關係のあるのは結髮の形でありますが、これは別問題であり、且つお婦人の方が經驗を積んで居られるのでありますから私は說明することを略します。

顏面の形狀は以上述べたやうなことで整へることが出來ても皮質の不良に至つては更に別の注意が必要であります。元來顏面の皮膚は、極めて血管に富み、發育が盛んでありますが、同時に皮脂腺や毛孔などにも富んで居ますから、是等に關係のある皮膚病を起し易い危險が具つて居ます。生れて間のない嬰兒から小學校までの小兒の顏面皮膚は男女の區別がなく、共に滑澤な美しい光澤を帶びてゐますが、成年期卽ち十六七歲頃から男女の區別が著しく目

立つて來ます。男の方は此處では述べないことゝし、女ではどうであるかといふに、皮脂腺の作用が頓かに高まつて來る爲に脂肪樣の分泌物が多くなり鼻の尖、鼻の兩側、額、頰、頤などがいつも油氣を持つて居るやうになり、それを拭ひ去らないで置くと、空氣中の塵埃がついて汚い色がつき又黴菌が附着すると直ぐに毛孔に這入り込んで小さな毛嚢炎が出來ます。これが痤瘡であります。これは誰でも知つてゐる病氣で、アゝにきびか位に極く輕く思つて居ますけれども、試にこれを直さうとすると極めて直り苦いのに驚かされます。而して長く直らないでゐると、それから麪皰といふ黑點が出來て來て、宛も母斑のやうになり、隨分容貌を損じますから痤瘡は決して輕ずべきものではありません。私が治療した一人の婦人は婚期が接近して來るのに以前から在つた痤瘡が少しも直らないから少しく狼狽し始め新聞の廣告を見ては手當り次第に賣藥を用ひて居ると痤瘡の方は少しも直らないで、顏がどす黑くなり所々に黑い斑紋が出來て來て以前よりも數倍醜い顏になつて仕舞つたといふことでした。それを診察して見ると顏の皮膚が藥の刺戟を受けて反應性の色素沈着を起して居たのでありましたが、患者が痤瘡だと思つて手治療をしてゐた病氣は痤瘡ではなく、結核疹の一種であつたのです。それだから皮膚が焦げるまで藥を塗りつけたとて直る筈はないのです。こんな實例は世間には隨分多いことゝ思ひます。

痤瘡は一見して何んでもない病氣のやうに思はれてゐながら直り苦いといふのは如何なる譯かといふに前に述べた通り先づ第一に皮脂腺の分泌が盛になることが「にきび」の第一の原因であり、これに黴菌の傳染が起ることが第二の原因でありますから、これを直すには第一の原因を除くことを主眼としなければなりません。然るに此第一原因は女が成長して年頃となつた爲に起るもので、月經の始まることや毛髮が黑味を增して來ることや、今迄毛がなかつた所に硬毛が生ずることなども原因を同うして内分泌

と密接な關係を持つて居るのであります。故に一定度までは到底避け得られない當然の出來事でありますけれども、其程度が病的でなければ大した惡結果を生ずることはありません。何となれば第二の原因たる黴菌傳染を避けることに注意してゐれば、たとへ痤瘡が出來ても痕が貽るやうな惡性の痤瘡になることはないのであります。此關係を心得えて居ないで「にきび」取り藥として坊間に行はれてゐる賣藥を濫用すると、それが爲に却て皮膚の質を害して取返しのつかぬことになる恐があります。又前にも述べた通り痤瘡に似た惡性の皮膚病があつて、素人の方には其見分がつき兼ねますから、自分では痤瘡だと思つても一度は專門家の診察を受けて病氣の性質をきめて貰つた方が安全と思ひます。

痤瘡は前述の通り毛孔の病氣でありますから、それが直ると毛孔に多少の變化が貽ります。その爲に毛孔が大きくなり、毳毛と毛孔との間に少しの間隙が出來て、そこに溜つて居る皮脂に空氣中の塵埃が附着して黑くなり、顏全體の色合を汚くすることがあり、又塵埃がつかないまでも、毛孔の大きくなつた爲に皮膚の表面に凹凸が出來、滑かさが減ずる爲に白粉の展びが惡くなることがあります。斯の如く痤瘡はそれ自身顏の皮膚を惡變させるばかりでなくこれを直す方法の不適當な結果として甚しく皮質を惡くするに至るものですから「美しい顏」に取つては最も怖るべき敵と謂はねばなりません。

次に注意しなければならぬのは「そばかす」（雀卵斑）であります。これも年頃に成ると出來て來るもので、眼を中心として横と下即ち顏の内で最も多く醜美と關係を持つて居る所に出來るのでありますから婦人からは一番厭はれる病氣であります。此病氣の原因は未だ充分に解つて居りませんけれども、年頃に成らなければ出來ないことを考へて見れば、痤瘡と同じく、何かの内分泌と關係があるのではないかと思はれます。又別に肝斑といふ名稱がありますから或は肝臟と何か關係がある病氣だと謂はれたこ

とがあつたかも知れません。

此病氣は痤瘡とは違つて唯汚い斑が出來るのであ**りますから、何か藥を以て灼取つて仕舞へば直るも**のでありますが、其の灼取る方法が却々容易ではありません。疣のやうに皮膚面から高まつて居るものならば、少し注意して藥をつければ、其處だけにつけることが出來ますけれども、雀卵斑では少しも高くならないで唯色だけが替つて居るのでありますから少しでも藥が餘計につくと周圍の健康皮膚までが灼かれて仕舞ひ、其結果は雀卵斑よりも大きな痕を貽すことになります。故にこの治療は皮膚病專門家でも最も困難として居るもので、況や素人療治やなにかでは到底成功するものではなく、却て不良な結果を貽すことが多いのであります。

痤瘡と雀卵斑とが皮膚を荒らす原因として最も注意を要することは上述の通りで、幸にしてこれの手當が良ければ終生美しい顏の持主として女の中の女らしい氣分になれますけれども、一度過てば天禀の美は永久に破壞されて仕舞い、女としては落伍者の群に投じなければならぬかも知れません。因て**私は婦人に取ての幸福の源は顏の保健より外は**ないといふ極端な詞を用ひて婦人方の御注意を促す次第であります。

## 肺結核治療の社會的施設

醫學博士　篠原昌治述

肺結核患者の多い、從てこれが爲に夭折する者の多いこと、又その傳染の恐るべきことは、全く醫學に關係のない人でも既によく承知して居る筈である。それで政府でも醫師または一般の有志者も結核撲滅の爲には隨分骨を折つて居るのであるが、未だ一向目醒しい成績が擧がらない。歐米諸國に於ては既に着々その功を奏して逐年結核死亡者の數を減じて來て居るのに吾國の結核死亡者數は尚ほ年々增加の傾向を示して居る。これは實に憂ふべきことで又恐るべき一大事である。然るにこの憂ふべく恐るべき事實も戰爭などの樣に目に立たない所から國民一般は頗る悠長な態度をとつて居るのである。それだけ益々寒心に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

堪へない、豫防撲滅の成績の擧らないのも全くこれが爲である、故に苟も衛生の何たるを解する程の人は、社會國家の爲に吾が同胞の爲に日本國民の爲に多少ともこの結核撲滅策に力を添へるの覺悟がなくてはならぬ、それには先づ結核の國民に及ぼす害毒の如何なるものであるか、これを豫防撲滅するには如何なる治療施設が必要であるかと云ふ衛生思想の普及が極めて大切な事で、正に本會會員諸姉等の奮勵に俟つこと實に大なるものがある、故にこれは決して面白可笑い問題ではない、國民全般の健康の爲に、人類の福祉の爲に眞面目に考へていたゞかなければならぬ事柄である、依て茲には篠原博士の結核療養施設の御意見を掲げて御參考に供します。（編者）

醫學は各個人の疾病を治療するのみでなく以て國家社會を救濟すべきものなることは極めて明白なる事實である。而して社會上醫學の力を要するものは頗る多數であるが、今爰には先づ國民病たる肺結核の撲滅に就ての所感を記述することゝする。

肺結核が一般國民の疾病及び死因の大部分を占めて居ると云ふことは今更申述べる迄もないことである。然るに歐米各國に於ては近來結核撲滅運動の勃興と共に肺結核の死亡率は年を追うて漸次減少し行くものあるに拘らず、吾國に於ける肺結核死亡率は死亡統計表に現はれたる數字に於ても少しも減少しないのみでなく、却て年々增加すべき傾向を有するのである。然るに吾國に於ける肺結核患者は、種々なる理由によつて死亡診斷書の病名欄に肺結核として記入せられずして、慢性氣管枝加答兒、慢性肺炎及び時としては同疾患に全く無關係なる病名を附せらるゝ場合も少くないから、若しこれを正當に記入せらるゝものとすれば、肺結核の死亡數は現時の統計表に現はれたる數字よりも著しく多數なるものと思はねばならぬ次第である。而してこの肺結核患者が斯くの如く多數であると云ふことは、一般國民衛生上の大問題であるのみでなくその國運の隆替に及ぼす影響も頗る大なるものであるから、吾人はこの肺結核の撲滅に就て大に努力せねばならぬのである。

然らば吾邦に於ては從來この肺結核の撲滅と云ふことが等閑に附せられて居るかと云ふに決してさう

ではなく、爲政者にあつても亦醫師その他民間有志にあつても本病の撲滅に奮鬪努力せらるゝ人はあるがそれは決して多數ではない、然るに斯る事業は少數の人によつて遂行せらるゝものではなく常に社會のあらゆる階級に於ける多數の人々の努力によつてその效果を收め得べきものであると共に、この結核撲滅に就てはその方法の適否が頗る重要な問題であるが、それ等は悉く醫師の手によつて行はるべきものであつて、この運動には醫師の力を要すること頗る多きものである、從て現今行はれつゝある肺結核撲滅方法は果して適當なるものであるか又今後新しき施設又は改善を行はねばならぬとすればそれは如何なる方面に向つて進まねばならぬかと云ふことが爰に大に攻究すべき重要なる問題である。

然るに肺結核の撲滅に就て考慮すべきものは多種多樣であつて從てその總てに就てこれを詳細に記述することは頗る困難である、それ故今爰には主としてその治療上に於ける所感の一端に就てのみ記述することゝする。

肺結核の治療に就ては世界各地に於て多數の學者が專心これが研究に沒頭せらるゝものあるに拘らず未だ嘗てこれによつて肺結核を治癒せしむるに足るべき方法が發見せられないのみでなく、確實にその病狀を輕快せしむべき方法すら發見するに至らないのは頗る遺憾とする處である。果して然らば、肺結核は不治の疾患であるかと云ふに、決してさうでなく結核性疾患に對する豫後は近來著しく佳良となりその多數のものはよく治癒せしむるを得るものであるが、その療法としては古來より行はれつゝありし氣候療法、衞生食餌療法等を主とし、それに理學的療法、特種療法、運動療法、精神療法及び藥物療法等を兼ね行ふものであつて、斯る方法は頗る複雜にして且迂遠なるが如きも、この方法によるときはよくその效果を收むることが出來るものなると同時に、これ以外には他に適當なる方法を有せざるものである。

肺結核の治療が既に述べたるが如く種々なる治療法の綜合的作用によつてその效果を收め得べきものなりとすれば、爰に吾人の考慮すべきは如何にすれば是等の療法を完全に行ひ得るかと云ふ問題である然るに疾病に對し斯の如く種々なる療法を同時に兼ね行ふにはそれに適應せる設備及び優越せる技倆と熱心とを有する醫師の指導監督を必要とするものであつて、從つて普通家庭に於てはこれを行ふことは頗る困難であつて、この際完全なる設備を有する療養所に入ることを以てその理想とするものである。而して初期肺結核患者にして速に適當なる療養所に入り長く治療を繼續するものはその否らざるものに比して豫後頗る佳良なることは既に多くの經驗によつて證明せられたる事實である。それ故肺結核の療法としては完全なる設備を有する多數の療養所を設け、何人もこれを利用することが出來るやうにすることが先決問題である。

呼吸器疾患の療養所を設くるに當り、その位置としては空氣清澄にして塵埃を有せず氣候溫和にして風力強からざる場所を選ぶべきものなることに就ては何等議論の餘地を有せざるものであるが、それ以外に考慮すべきは、その場所が高山、低地、森林及び海岸等によつて各々その作用を異にすると云ふことである。

高山地方は海拔の高きに從つて氣壓減少して蒸發速かとなり氣溫は著しく減少するも地溫は反對に增加し空氣は清潔にして塵埃少なく常に乾燥して濕氣を含まず、夏期は空氣の運動強くして冬期には少なく光線の影響強盛にして一年中に於ける氣溫の變化極めて少きものである。それ故高山地方にあつては食慾亢進し新陳代謝を促進し血行を盛にし呼吸を深くし睡眠を良くし全身榮養狀態を佳良ならしむるものである、この高山療法が結核患者に有效なることは經驗上明かなる事實であるが、さりとて凡ての結核患者に適當なるものでなく豫防的又はまだ身體衰弱せざる患者にのみ應用すべきものであつて

重症患者又は喉頭結核その他の合併症を有するものには不適當である。殊に結核患者には氣候療法と共にその他の療法をも兼ね行はねばならぬものであるが、高山地方にあつても交通不便のためそれを行ふことが出來難き不利を有するものである。然るに低地療法は廣濶の原野又は山間平垣の土地等を選ぶものであつて、高山地方と反對に過敏性の患者にあつて甚だしく循環障碍を來し又は著しく疾病の進行せるものに適するものである。而してその中間位にある患者は又高地と低地との中間卽ち海拔七百乃至千二百米の場處を適當とするものである。更に海岸の氣候にあつては日々の溫度の動搖比較的少なく空氣清潔にして塵埃を有せず常に濕氣を含むことを特徴とするものである。而して同じく海岸にあつても南方は冬季氣候溫和なるを以て循環障碍を有するもの及び粘膜の刺戟症狀に苦しむものに甚だ佳良であるが、夏季は寧ろ東海を以て適當とするものであつて、北海は刺戟を要する患者に適當である、斯くの如く肺結核に對する氣候療法は患者の種類及び四季の期節によつてこれに適應せる場處を選ばねばならぬものである。

療養所に就てその地位に次ぎ考慮すべきは實にその醫療設備である。既に述べたるが如く、療養所に於ける結核患者にあつても單に療養所に入ると云ふことだけでよくその治療の目的を達するものでなく疾病そのものに對しては療養所以外の患者に於けると同じく諸種の醫療を行ふことが極めて肝要なことである。これは極めて熟練にして且つ同情ある醫師の手を要することは勿論であるが、その他同疾患に對する諸種の醫療設備殊に外氣療法、日光療法等を行ふべき設備を必要とするものである。又結核患者に對しては食餌療法は最も大切なるものであるから、患者に與ふべき食餌に就ては常に周到なる注意を要するものである。

療養所は既に述べたるが如く適當なる地位を選び且つ完全なる設備を必要とするものであるが、斯く



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の如き療養所が設けらるゝ曉に至つてもこれに入るに多額の費用を要することゝなればそれ等は徒に資產階級の人々によつてのみ利用せらるゝものであつて、多數の肺結核患者はその恩惠に浴することが出來ず、從て肺結核撲滅の目的を充分に達することが出來ないから、この際如何にしてこの結核療養所を總ての階級の人に自由に利用することが出來る樣にするかと云ふことが極めて肝要なる問題である。而してその方法としては一は無料又は極めて低廉なる費用を以て入所することの出來る療養所を多數に設くること、他は一般國民が一旦病氣に罹つた場合には自ら何等の費用を負擔することなくして完全なる醫療を行ふことを得られる樣な方法を講ずるの二途にあるものである。

然るに翻つて吾邦の現狀に就て考慮するときは頗る寒心に堪へないものがある。それは第一に結核療養所の數が極めて少く多數の結核患者を收容することが出來ない。偶〻少數に存在するも海岸又は低地に限られて高山療法に適する患者があつてもこれを送るべき療養所は皆無である。更にその少數に存在する療養所にあつてその主任醫師の技倆はこれを別問題とするも、果して完全なる設備を有するものなりや否や疑なきを得ないものがある。殊に遺憾に感ぜらるゝは肺結核患者に對して食餌療法が極めて大切なるものなるにも拘らず現今吾邦に存在する結核療養所にして患者の食餌に對し周到なる注意を拂ふものが全然ないと云ふことは出來ないけれどその多數のものはこれを何等醫學的知識を有せざる賄方に一任し醫師は形式的にその獻立表を見又はこれを檢査することはあるとするも各人の病症に應じて適當に處理するだけの誠意を有するものは極めて稀なることである。

斯くの如く現時に於ける療養所の多數が吾人の期待に反するものがあるとするも、尙ほ結核の自宅療養に比すれば幾分か優良なるものであつて、殊に都會居住者であつて狹き家屋に多人數居住するが如

き場合にあつてはこの療養所治療を頗る利益とするものであるから、肺結核に罹つた場合に直ちに療養所に入ることは多くの人によつて要望せらるゝ處であるが、目下の狀況にあつてはこれ等憐れなる結核患者の熱望を滿足せしむることは殆んど不可能である。何となればこれ等療養所の內官公立又は慈善團體の設立に係り無料又は極めて低廉なる費用を以て入所すべきものは極めて少數であつて、その中にあつても或は入所すべき資格を限定するものもあり又何等資格上の制限を設けないものもあるけれどもその何れにあつてもこれ等療養所に於ける病牀數は患者數に比して極めてその數少きを以て常に空牀を有せず容易にこれに入所することが出來ない。さりとて私立の療養所に入らんとすれば非常に高額なる費用を要し中產階級以下のものにあつては到底これに入ることが出來ない狀況である。

初期肺結核患者の治療法としては療養所治療を理想とするものなるにも拘はらず、多數のもの殊に中產階級以下の患者にあつては療養所治療を行ふことが出來ないと云ふことは本病の蔓延を防止する上に於て頗る不便とする處である。それ故吾國に於ける結核患者を撲滅し又は少くともその數を減少せしめんとするには少くとも完全なる設備を有する療養所を增設し、これを一般國民に利用せしむることを最大急務とする處である。然るにこの療養所の設備を完全ならしむることは醫師の手によつて行ふべきものであるが、これを增設し且つ一般國民に容易に利用するを得せしむることは社會政策上の大問題であつて、爲政者竝に民間有志にあつてもこの點に向つて充分努力せられんことを希望するものである。殊に無資產階級のものが肺結核の如き慢性の疾患に罹つた場合には、一方に於て收入の途を杜絕すると共に他方に於てはこれが治療に多額の費用を要するものであつて、單に患者そのもののみならずその一家族をして極めて悲慘の境遇に陷らしむるものであるから、これが救濟は焦眉の急を要する社會問題で

ある。然るに健康保險法が制定せらるゝ曉には同保險が單に工業勞働者竝に鑛山勞働者に限られて居る關係上一般國民に比すれば極めて少數のものであるけれど、それでも假令國民の一小部分にもせよこの保險法によつて救濟せらるゝことが出來るものであるから一日も速かにこの保險法の實施を希望するものである。

肺結核の治療に就て記述すべきことは頗る多數であるけれども今回は單に療養所問題だけで擱筆する。

育兒

# 子供と炭火

醫學博士　三田谷啓述

火が人を殺す、と言へば必ず火事に限ると思ふでせう。しかし火鉢や爐の中の火から瓦斯が出て、酸化炭素中毒にかゝつて人事不省になつたり、死亡したりすることがあります。今や向寒の時節、火鉢、爐、炬燵などを盛んに用ひます。わけてコドモは抵抗力が弱いから中毒にも早くかゝり易い。酸化炭素が〇・〇一%以上になると害毒を人體に及ぼすのです。〇・〇五%にもなると中毒症狀が起ります。前夜まで無事であつた子が朝起きて見ると死んで居ることがあります。これは酸化炭素の中毒によるので

す。炭火を澤山おこして肺炎の子供の寢室內に置くと、息するのに困つて居る上に尙ほその苦しさを增すことになつて死を早めることになります。又炬燵で子供を殺すことがあります。炬燵に炭火を入れて子供を寢かし蒲團を鼻の上まで掛けて常ると外に出ずして酸化炭素が多く子供の鼻と口へ這入るからです。西洋室に炭火は大危險西洋の室は空氣の流通が惡いから炭火を用ひる場合は餘程注意して換氣を十分にせねばなりませぬ。西洋室にコドモを入れて炬燵をして置いたまゝ又は炭火を置いたまゝ締め切つて置いたりすると、そのため炭火の中毒をして危險を招きます。赤くなつた炭火も危險、從來炬燵や火鉢に入れる炭火は赤くなつて居さへすれば危險がないもののやうに考へられて居ました。しかし最近の研究では炭火が赤くなつた際に酸化炭素の多く發生することがわかりました。

# 乳兒榮養品調理方

これは樫田學士が有名なる墺國國立母親及乳兒保健所を視察され、同所に於て實行してゐる乳兒榮養品の調理方を紹介されたものですが、頗る有益な記事と思はれますので、兒童研究から轉載させてもらいました。（編者）

醫學士　樫田五郎　述

昨年の春、國際聯盟の衛生部が第二回國際衛生技術官交換視察會議を催し、各國衛生技術官をして英墺二國に於ける各種の衛生施設を視察せしめたる際、私は偶〻之に參加する機會を得、ウィーンに於て墺國國立母親及乳兒保健所を他の技術官等と共に視察した。所長モル教授は同所の相談所、病室、看護婦學校等に就て說明し、所內各室に案內し又或る一室には同所の調製に係る乳兒に與ふる各種榮養品を陳列し、之に就て實物示教を爲し、各參觀者に之を試嘗せしめるなどして、一同甚だ有益な見學を爲した。同所は獨逸國の乳兒死亡防止調查研究機關たる「カイゼリン・アウグステ・ヴィクトリア」院と共に

歐洲に於ける乳兒保護機關の雙璧たるは人の知る所である。故に同所に於て日常實行しつゝある乳兒榮養物の調理方の一斑を紹介するも、あながち徒爾ならず、成書の記載と相俟つて本邦育兒上の參考の資にもならんかと思ひ、之より順次記述する。

乳兒に與ふる乳汁（牛乳又は山羊乳）は全乳を稀釋する必要があるが、此の稀釋乳をして高い榮養價を含有せしむる爲には稀釋液として（a）糖液（b）重湯（c）澱粉煮液を用ゐる。

### A 糖液

乳汁に糖液を加ふるは二分一乳を調理する場合に多く行はる。卽 全乳に加ふるに同量の糖液を以てするのである。ホイブネル及びホフマン氏方は、一〇%の糖液（乳糖或は蔗糖）を作り之に同量の全乳を混和するにある。此の混和液は母乳と同率の糖量を含有するが、其の熱量は一立（「リートル」）に付五三〇「カロリー」で、母乳の一立に付六五〇「カロリー」なるに比較すれば榮養價が少ない。

ビルケー氏方により、一七%の糖液を同量の全乳に加へると、母乳と同樣、一立に付六五〇「カロリー」の二分一乳を得られる。

以上の如き方法にて調理せられた乳は能く之を煮沸し（此際焦げ付くを防ぐ爲に絕えず攪拌するを要す）次に、豫め洗滌し煮沸消毒し置きたる罎に之を塡める。又はソックスレート消毒器を用ゐて滅菌してもよい。

### B 重湯

重湯を作るには米又は燕麥を水一立に付き七〇瓦の割合で加へ一時間煮、細網馬毛篩で濾過し、次に此の濾液が最初の容量と同じとなる迄再び水を加へる。之に又一〇%の割合で糖を加へれば茲に乳汁稀釋液が出來上つたのである。之を乳汁に加へて煮沸するのである。

第一例、米の重湯を混じた二分一牛乳の處方

| | |
|---|---|
| 重湯（七%のもの） | 半立 |
| 牛乳 | 半立 |

砂糖　五〇瓦（角砂糖十個）

右混和液は約六五〇「カロリー」を有す。

第二例、米の重湯を混じたる三分一牛乳の處方

重湯（七%のもの）　三分一立

牛乳　三分二立

砂糖　三五瓦（角砂糖七個）

右混和液は六五〇「カロリー」を有す。

C　穀粉煮液

穀粉の煮液を稀釋液として用ゐる場合は次の順序を追ふ。卽小麥粉或は燕麥粉或は米粉を水に蘸して（水一立に對し五〇瓦の割合）掻き混ぜたる後更に能く攪拌しつゝ十分間煮る。此の穀粉煮液の熱い間に牛乳を之に混和し、次に穀粉煮液に對し一二%の割合で糖を加へ、急速に煮出す。斯の如くにして前記二例と同樣、二分一又は三分二牛乳を調製し得る。穀粉としては普通、小兒用穀粉を用ゐるが、此の代りに菓子又は「ビスケット」を潰して粉末としてもよい。此の場合には之を十倍の水に蘸して軟かにし、次に七%の割合に糖を加へて熟煮す。而して二分一牛乳を調理するには同量の牛乳を、三分二牛乳を調製するには一對三の割合で牛乳を混じ熟煮するのである。

凝固牛乳

牛乳と穀粉との混合液を飮み易くするには牛乳を凝固狀態に變置せしむるがよい。卽モル氏方により乳酸「カルシューム」を牛乳に混和し煮出すのである。乳酸「カルシューム」と牛乳との割合は前者一瓦に付き後者二五〇瓱とす。

例

五%米粉煮液　二五〇瓱

糖三〇瓦又は角砂糖六個　（米粉煮液に對し一二%の割合に當る）

牛乳　二五〇瓱

乳酸「カルシューム」　一瓦

右混和液を絕えず攪拌しつゝ能く煮れば牛乳は微細の絮狀に凝固す。

A　ツェルニー氏及クラインシュミッ

ト氏牛酪（「バタ」）穀粉榮養品

稀釋液（水）に對し七％の牛酪（「バタ」）を取り、此の牛酪を中等度の火力で炙りつゝ溶かし、之に徐々に七％（稀釋液に對し）の穀粉を混入し、絶えず攪拌して穀粉が鮮褐色に色付くまで炙り續ける。然る後左記處方に示されたる水の容量を折半し、其の一半を冷水の儘にて上記の牛酪穀粉に注加し、續いて他の一半は熱湯にて注加して掻き混ぜ、然る後再び之を熟煮する。又一方に於ては、牛乳に五％の割合で砂糖を加へ溫めたものを調理し置き、之に前記の牛酪穀粉加水液を注入する。

例

「バタ」　三五瓦
穀粉　三五瓦

「バタ」七瓦と穀粉五瓦とを全く鮮色に色付くまで焙り、之に牛乳一〇〇瓦、砂糖七瓦を加へ、絶えず攪拌しつゝ熟煮す。本品は一立に付き約一八〇〇「カロリー」を有す。

B　シック氏複方榮養品

全乳一〇〇瓦に付き一七瓦の蔗糖を混和す、一立一三〇〇「カロリー」の熱量がある。

蛋白乳

A　フィンケルスタイン氏蛋白乳

一立の生乳に一茶匙の「ペグニン」（粉末狀「ラブ」酵素＝粉末狀凝乳酵素）或は一食匙のジモン氏「ラブ」精を加へ、約半時間攝氏四〇度の水浴に置く、然る時は「カゼイン」（乾酪素）が凝固して絮塊となる此の如く變態せる牛乳の全體を麻布製嚢に入れ一時間放置して乳精を十分滴流せしめる。次に嚢中の乾酪塊を取り出して鉢に入れ、匙にて細碎しつゝ徐々に半立の水を加へ細網馬毛篩にて三回乃至六回、「カゼイン」塊の微細に浮游するに至る迄濾過する。次に此の濾液に再び半立の牛酪乳或は酸性の脱脂乳を加へ、更に之に一％の脱脂玉蜀黍粉又は他の穀粉と一％の砂糖とを混和し絶えず攪拌しつゝ熟煮す斯の如くにして得たる液は、砂糖を除き一立四五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○「カロリー」の榮養價を有す。

### B　モル氏蛋白乳

甲。牛乳一立、水半立、乳酸石灰四瓦を混和し凝固するまで煮沸す。次に此の煮液を布篩にて濾過し、殘留物を更に細網馬毛篩にて漉し乾酪を濾過す。斯くして得たる乳精の半立を取り、之に半立の水、四分一立の全乳、濾過乾酪、三〇瓦の穀粉（玉蜀黍粉又は米粉を最善とす）及砂糖（適宜、但し六〇瓦以下たるべし）を混和す。

此の混和液を泡沫發生器にて絶えず強く攪拌しつつ煮沸す。時間は二三分でよし。此の如くにして得たる液は約六五〇「カロリー」ありて母乳と略ぼ同榮養價を有す。

乙。簡單に蛋白乳を調製するには左の方法を用ゐる、半立の全乳に四分一立の水及三瓦の乳酸石灰を加へ、小火力にて徐々に温める。然る時は牛乳は沸騰する前に既に凝固し乳精が分離する。故に此際注意すべきは牛乳が沸騰し始めたら早速火を引くことである。乳精の四分一を捨て其の補充として四分一立の米重湯（七％のもの）或は米粉煮液（七％のもの）を加へて速に強く煮出す。母乳と同榮養價を得んと欲せば、七％米重湯に對し一二％の割に砂糖を混ずるがよい。米粉の代用として玉蜀黍を使用するも亦有益である。

### C　ステルツチル氏「ラロザン」乳

「ラロザン」（「カゼイン」の乾燥製品）二〇瓦に小杯量の牛乳を混じ、次に煮沸した牛乳半立（小杯量だけを減量す）を加へ絶えず攪拌しつゝ沸騰せしめる次に之を細網馬毛篩にて漉し、之に熱湯又は重湯又は粉汁を加へ一立と爲す。砂糖は醫師の指圖に從ひ添加する。

### 牛酪乳

乳酪を酸性に變せしめ、濃厚となりたる牛乳を小型の牛酪製造器に入れて處置する。牛酪の小塊は篩を用ひて除去する。斯くして得たる牛酪乳一立に玉蜀黍粉或は米粉或は小麥粉の三〇瓦及砂糖六〇

瓦を加へて冷置し、更に重曹二瓦を加へる。此の全體を泡沫發生器を用ゐて三回泡立たしめる。本榮養品は約六五〇「カロリー」を含有す。

ケッレル氏「マルツ」汁

三分一立全乳に五〇瓦穀粉を混ぜ能く攪拌しつつ煮沸する。又一方、他の容器に三分二立の熱湯を盛り、之に一〇〇瓦の「マルツエキス」（麥芽「エキス」）を溶解さし、次に一〇％炭酸加里を加へて中和す。此の液と第一液とを混合さし、之を絶えず攪拌しつゝ煮沸す。此のケッレル氏麥芽汁は七五〇「カロリー」を有す。

レフルンド氏「マルツ」汁「エキス」の如き完成「マルツ」製品を用ゐる場合には之を中和してはいけぬ。

リービヒ氏「マルツ」汁

一五瓦の小麥粉に一五瓦の麥芽粉、半瓦の重炭酸加里を混和し、之に三〇瓦の水を加へ、更に一五〇立方仙迷の牛乳を加へ斷えず攪拌し、小火力を用ゐて混和液が濃厚となる迄溫める。次に火を去り、再び五分間攪拌し、復溫め復火を去り、遂に濃厚液が薄液に變化するまで行ふ。然る後又再び數分間煮る。

麥芽粉を作るには自宅で麥芽を焙り、「コーヒー」搗碎器を用ゐて粉末にしてよい。

粥

米粥又は小麥粉粥を調製するには、先づ米又は小麥粉を水で煮て軟かにする。最初から牛乳を加へて煮てはいけない。

小麥粉粥を作る際、塊の生ずるを避ける爲に、粉を徐々に絲狀を爲して水中に落とす。之に少量の鹽を投じてもよい。次に棒で十分攪拌する。米粥の場合には小麥粉よりも長い間煮るを要し、米粒が充分軟かになるまで煮る。

斯くして得たる米粥又は小麥粉粥に熱い牛乳と砂糖とを注加し、再び攪拌して充分に煮出す。

例を擧げて示せば、半立の湯に七五瓦（四食匙量）の小麥粉を投じ、能く攪拌しつゝ半時間煮て、

水量が最初の半分となる迄煮詰る。之に牛乳半立及糖三七瓦(角砂糖七個)を投ずる。即稀釋液に對し三〇%の小麥粉及一五%の砂糖を混和するのである。

# 兒童と眼鏡

荘司　秋次郎　述

近年小學校でも十歳以上の兒童は體格檢査の時に視力及び屈折狀態を檢査することになつて居りますので、遠視であるとか近視であるとか云ふことは大抵わかるわけであります。併し學校の檢査は短時間に多數の檢査を致しますので輕度のものは往々見逃され、殊に遠視の輕度なものは殆ど隱れてしまひます。

ところで生來屈折異常の傾向ある兒童は、恰度この年頃から近視とか遠視とかの症狀を表はして來るもので、度の進み方も早いものであります。それ故に昨年の檢査まで何とも云はれたことが無いと云ふ兒童にも相應の近視或は遠視を認めることが少くないのであります。殊に小學卒業間近の兒童には隨分高度のものを發見することがあります。

そこで眼鏡の問題が起ります。

(一)この兒は黑板の字がよく視えないので教場で席を前に出してもらつて居りますが近眼でせうか。

(二)この兒は近眼の樣ですが眼鏡を掛けさせたものでせうか。

(三)この兒は近眼なので眼鏡を掛けさせましたが殆ど用ゐません、度が合はないのでせうか。

(四)この兒は近眼ですが、眼鏡を掛けると度が進むと云ふ話ですから、掛けさせずに居りますが、それで宜しうございませうか。

通常右の如き質問を受けます。依て順次これにお答をして見ようと思ひます。

(一)多分近眼でせうが、案外遠視のこともあり、又種々の亂視の場合もあります、孰れにしても檢査

して見なければなりません。

(二)矢張檢査をして見た上でなければわかりませんが、果して近視とすれば、適當な眼鏡を與へなければなりません。但しそれも度によります。

(三)多分度が合はない爲であらうと思ひます。特に亂視の際に不適當な眼鏡を與へれば、子供は掛けて居りません。

(四)近眼に適當な眼鏡を適當に用ゐて度が進むと云ふ理由はありません、用ゐずに無理をすれば進むのです、不適當な眼鏡を用ゐれば勿論です。

家庭衛生

## 日本の炬燵

醫學士　後藤秀兵述

孰れの國の暖室法にも一利一害があり、孰れの取煖法にも一得一失はあるが、私は吾國の暖室法ほど無意義なものはなく、吾國の取煖法ほど幼稚な無思慮なものはないと思つてゐた、それで一日も早く斯樣な馬鹿氣た家屋は取壞し、斯樣な取煖法は根本的徹底的に排斥してしまはなければならぬと思つてゐた、殊に炬燵の如きはお話にならぬ厭らしい無智惰弱の取煖法で非衛生的な國辱的道具だと思つてゐた、然るに過日東京日々新聞に「愛すべき又經濟的な日本の炬燵」と云ふ題で左の如き後藤學士のお話が出て居つた、これに依て流石の私も、なるほど現在の吾國の家屋では炬燵も惡くなさそうだ、或は最も善い物らしく感ぜられた、會員諸姉の中にも御同感の方もあること丶信じ炬燵辯護の資料に之をそのま丶御紹介致します。(編者)



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「こたつ」ほど今まで攻擊され敵視されたものは他に例がないかも知れない。それにもかゝはらず依然として婦人小兒の間に愛用されてゐるのはどういふわけであらう「こたつ」は果して無用であるかどうかといふに、私は最近海拔三千尺の地に滯在して見て其經驗上「こたつ」は現在の日本風の家庭では一種獨特の優秀性と更に必要性とをそなへてゐることを知つたのである。しかし一方には充分にその害毒をも經驗することが出來た。卽ち凡そ二十分も「こたつ」にはいつてゐると何となく萎微、困憊の感におそはれ何をするのもいやになり頭痛がしてくる。害毒方面の研究としては、はやくから、故緖方博士及び横手博士の實驗がある。緖方博士は「こたつ」内の空氣につき炭酸三・七「パーセント」酸化炭素〇・〇一二「パーセント」の存在を證明し、次いで横手博士は小さい「あんか」の灰中に堅炭の既に赤くなつたのを埋めて布團をかけ其襟のところ卽ち寢てる人に口の部分に相當するところで空氣を試驗したところやはり多量の炭酸を檢出したが、しかし酸化炭素の存在は證明し得なかつた。これは博士が炬燵のかはりに小「あんか」を用ひたのと既に赤くなつてゐる炭火を灰の中に埋めたこと及び堅炭を用ひた點が緖方博士の試驗と異なりその爲に成績がよかつたのかも知れない。で、私は上等にして新鮮な堅炭の既に充分赤くなつたものを炬燵に入れ、屢々實際にあたつて見たがやはり不快感、頭痛、困憊の感が二十分もすると起こつてくる、尤も室は換氣の活潑な八疊の日本間であつた。これはまた一面において血液分配の不平均から輕い腦貧血の狀態を起こしたのかも知れない。私は別の日本間に石油「ストーブ」を用ひ攝氏二十度に保溫してこの中にゐたけれども早朝及び入浴後などには膝關節が非常に冷えるのでどうしても一度炬燵に入つて關節や皮膚の表面や手足の先の血液循環を調節せずには過ごされなかつた。何故冷えるかといふにこれは日本室の換氣狀態の特性が原因となるのである。卽ち日本室では冬期の換氣は主として床板

疊を通じて行はれる、その上天井から室內の溫められた空氣がにげてゆく。その結果、天井附近は一番暖かいが疊に近いところは一番低溫である低溫な上に疊の目から盛んに立ちのぼる冷たい空氣のため膝關節や手さき足先は非常に溫度を奪はれるのである。婦人は一層甚だしく腰部が冷え、腎炎、感冒、「レウマチス」その他の一誘因はこゝにあるのである。以上の缺陷を救濟し豫防するものはひとりたゞ炬燵あるのみである。一般に換氣のよすぎる日本家屋では室內に炬燵があつても別に何等憂うるにはあたらない、たゞ長い時間之に入りひたつてゐるのは有害である。ゆゑに二十分內外を限度として一日のうち時時炬燵を利用するのは決してさしつかへないことである。また「あんか」は炬燵よりも炭火の量が少いから一層害毒が少いわけであらう。要するに炬燵や「あんか」は一種の物理的療法の意義において重大なる貢獻をなしつゝあるものであつて日本の住宅及び暖房法が根本的に改善されない限りはこの愛すべきまた經濟的な炬燵の使命を閑却することは出來ないであらう。

# 肺結核と轉地療養

醫學博士　內田　小次郎　述

肺結核は空氣の善い所に轉地したがよいとは、一般の人の考へてゐる所で、轉地するとなると海岸は交通の便もよく、食物も豐富で、且療法所も多いと云ふ關係から、誰れでも海岸に行かうとし、醫師もこれを勸める。勿論適當なる時期に海岸に轉地し、又は療養所に生活することは、病氣に對しよい結果を與へることは確であるが、時期を誤るとよく無い結果を來すことが往々ある。假令極初期の時代でも未だ熱が十分にとれぬ時期に海岸に來ると局所の炎症增惡して、熱發、咯血、肋膜炎等を起すことが往往あり、これは一時的に過ぎ去つて次第に恢復することも多くあるが、又屢々これを動機として病勢が

増悪するものがある。

海岸氣候療法は海面からの反射光線、空氣中に含まるゝ鹽分の皮膚に及ぼす影響等からして、蛋白質療法や、光線療法に似た一種の刺戟療法であるとも考へられる。從つて海岸の氣候に接すると、病竈が「レアクチョン」を起すと云ふことは有り得る様である、勿論海岸に轉地する際に身體を動し過ぎたと云ふ様なことも病勢に關するであらうが、海岸の氣候の影響も亦決して少くない様に考へられる。

このことは療養所の様な十分監督のある所に、患者を送る場合にも注意すべきことであるから、況んや患者を單獨で轉地させる場合には餘程考へてせねばならない。それであるから有熱の患者は病院なり又は止を得ぬ時は自宅なりで、十分安靜を守らせて無熱の時期が永く續いた後に療養所に送ることが安全で、斯んなことは誰にも判りきつたことの様であるが、實際問題となるとむづかしいもので、十分の注意が必要である。

## 鍼と按摩

醫學博士　林　喜作　述

嚥下した縫針が無害に經過して、腹壁の皮膚を破つて出ることはあるが、外より刺入したる針は大抵その附近に停つて居るのが多い、私が昨年經驗したのは、鍼術者によりて、昨年八月腰部に鍼せられた一患者が鍼が折れ込みたるを知らずに過ぎ十一月に至りて便通に便塊と共に銀鍼を排泄した、鍼術者が鍼する際その部分の筋肉が痙攣性に緊張すると鍼が筋肉に捕へられて引拔く事を得ざるやうになり屢々折れ込むことがある。この場合は腰筋内へ刺されたのが漸次に腸管内へ潜入した如く觀える、筋肉内へ刺入せられた物は大抵無害に經過する、盲啞院の生徒の如きは練習のため自己の大腿に刺入するが大部分の生徒が二三本づつ折れ込ましてある、而しあまり障碍を訴へない、而し折れ込みたる事を患者が知れる場合には患者は不安に陷つて種々神經性の苦



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

痛を訴へて來て術者を困らすものである、外科醫として摘出を依賴せられたる時大なる筋肉の深部に刺入せられたる場合には無論場所によつて手術はそう容易なことではない、種々の危害や失敗を招くものである、古來より鍼術者は鍼が折れ込みたる際はその儘として置く例になつて居て、夫等の經驗からすると宛かも我々が骨縫合に用ひた銀線のやうな者であるから障礙がある迄手をつけなくてもよいやうである。

按摩には隨分亂暴な者がある、私は按摩によつて來した三例の肋骨骨折患者を看た。一例は患者を腹臥位にして背部を按摩し終りに術者が患者の腰部に登りて頭部の方へ向つてチヨイ〱と歩いて踏んで行つたのである、背部を踏まれた際に左の乳腺下でボキッと音がしたことを患者が自覺して居て全く左の第七肋骨の骨折であつた、第二例も同樣に腹臥位で兩手で強く背部から壓迫せられて右の第五肋骨を折られた者であつた、尙ほ一例は術者が兩手で患者の後方より胸部を抱え強くグット抱きすくめた、これも右の第八、九の肋骨骨折を來して居た、是等の場合を觀るも偶然の過失には相違ないが、何等の適應症と認むべき者無き場合に暴力を應用したのであるから困つた者である。結核性の關節炎に他動運動を行つた位は未だ〱お易いことで最近の胸椎「カリエス」の一例では龜背を足で蹴られ翌日兩下肢の麻痺を來した例を治療した、我々は是等の患者の無智を憐れむ前に、一般からその權威を認められる迄に醫學の向上發達を期せねばならぬ。

## 衄血と萎縮腎

醫學博士　森安連吉述

茲に一言したきは衄血（ハナヂ）の事である。之は周知の事柄である如く局所の變化により來る場合と種々の疾病の一症候として現るゝ事とあるのである。

慢性腎臟疾患殊に萎縮腎のときに衄血の來ることは

敢て珍らしきことではないが、これが最初の症候として來り且つ容易に止血せざるに於ては局所の變化にのみ囚はれ尿の檢査又は血壓の測定等を忽にすることもあるから、ために往々不測の誤を招くものである。その例としては頃日余輩の對診した患者に一人は五十歳の男子、一人は六十二歳の女子とがあつたが、兩者共從來健全で餘り病臥したことはなかつたと云ふが、突然或夜甚しき衄血を起し容易に止血せず主治醫は百方これが防止に努力せられたのであつたが、一時少く止りしも再び現はれ全く止血する迄には約十二時間を要したのであつた。この場合に於ても衄血が餘りに強きためこの方にのみ囚はれ尿の檢査に氣が付かざりし有樣であつたが、尿の檢査をするとその成績は立派な萎縮腎であつたのである。

# 雜報

## ○宮内省救療所

畏くも　皇后陛下の厚き御思召に依り、細民救療のため宮内省は東京府下に左記五箇所の臨時救療所を設置し左の如く侍醫寮より一箇所に侍醫二名づゝ出動、外に醫員五名舊臘十日より二十五日迄二週間毎日午後四時より九時まで診療に從事せられたり。

太平町診療所（本所太平町元警察署跡）

侍醫　入代　豐雄（主任）　山川　一郎兩博士

診療醫員　日赤本社病院井上喜一、山口操（以上內科）森住久光（外科）　永田英雄（小兒科）　正田二郎（眼科）　事務擔任警視廳衛生部高島淳。

三河島診療所（三河島町本願寺託兒所內）

侍醫　西川　義方（主任）　高木　逸雄兩博士

診療醫員　東大醫學部附屬醫院永井純三、中澤耘平（以上內科）井上康平（外科）　矢吹舜（小兒科）　原田永之助（眼科）事務擔任警視廳衛生部星川長之助。

日暮里診療所(府下日暮里櫻楓會託兒所)
侍醫　八田善之進(主任)　松永　琢磨兩博士
診療醫員　東大醫學部附屬醫院上條秀介、友川友示(以上內科)　黑澤潤三(眼科)　松山積(小兒科)　東陽一(外科)　事務擔任東京府閭山度右衛門。

富川診療所(深川區富川町市託兒所)
侍醫寮御用掛　荒井　惠(主任)　筧　繁兩博士
診療醫員　東京慈惠會醫科大學戶川篤次博士(小兒科)　各四名
事務擔任東京市社會局豐浦益郎。

鮫ヶ橋診療所(四谷區鮫ヶ橋小學校內)
侍醫　烏山南壽次郎(主任)　高橋　信兩氏
診療醫員　慶大醫學部附屬病院神保昂、曾影實(以上內科)　芝沼薰(外科)　高木六郎博士(眼科)　山岸幸一(小兒科)
事務擔任東京市衛生課高橋幸之助。

尙ほ侍醫寮藥劑師長細井美水氏各診療所に於ける調劑監督をなせりと云ふ。

○ルーマニア婦人の長壽

世界中人間の壽命は次第に短くなり行きつゝあるに、ルーマニア國の婦人のみは次第に長くなり行く事實表はれたり。一九一〇年同國の國勢調査によれば、婦人の平均年齡は四十二歲八なりしが、今年の調査にては五十一歲となりたり。なほ同國の部分的にはこれよりも著しく、トランシルバニア州セケレー郡の如きは平均五十六歲六に達せる所すらあり。又不思議なるは同地方は近來「ヒステリー」及び其他の神經病の婦人の減少せる事と精神病者も減少せることなり。かく婦人につき好成績なるは男子よりも勞働する事少きと近年同國の勞働賃金の增加せる事とを理由とせる醫家あれど、これ以外に何か大なる理由あるに相違なし。壽命延長學ぶべき事なり。

## 會報

○寄　附

金五拾圓也

右は故本會評議員男爵夫人南部限子刀自紀念の爲め同家より本會に寄附せらる本會は謹で之を受領し本會の維持發展の爲に最も有益なる途に利用せむことを期す

大正十四年一月

私立大日本婦人衛生會

# 私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮大妃周子殿下

會長 侯爵夫人 鍋島榮子

副會長 子爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

理事 鳩山春子　同 長谷川仲子

同 岡田德子　同 高木鐐子

同 山口貞子　同 天野多喜子

同 三浦敬子

評議員 入澤常子　同 羽田三緒子

同 服部繁子　同 原光子

同 子爵母堂 仁禮壽賀子　同 土肥多越子

同 緒方悅子　同 岡山とし子

同 小川孝子　同 男爵母堂 加藤鈴子

同 片山龜子　同 吉岡彌生子

同 丹波貞子　同 高橋孝子

同 中濱芳子　同 松平芳子

同 子爵母堂 松井正子　同 古市幸子

同 近藤慧子　同 男爵夫人 相磯まさ子

同 男爵母堂 青山孝子　同 岸澄子

同 菊地峯子　同 宮本樂子

同 三宅藤子　同 守屋千代子

同 瀨川さわ子

大正十四年二月一日印刷
大正十四年二月五日發行

編輯者兼發行者　東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地　莊司秋次郎

印刷者　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　柴山則常

印刷所　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　合資會社 杏林舍

發行所　東京市本郷區駒込千駄木町五十番地　私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所
東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂
同 市銀座三丁目　東海堂
同 市京橋區鈴屋町　眞明堂
同 市本郷區龍岡町　南江堂支店
同 市芝區愛宕町　明文館
京都市寺町二條南入　若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町　北隆館
同市神田區表神保町　東京堂
同市本郷區本富士町　盛春堂
名古屋市榮町六丁目　丸善書店

# 腸疾治療劑

# ラクトスターゼ

ラクトスターゼはメチニコッフ博士の腸内容中發見以來有名となれる乳酸菌製劑にして、同博士の以て最良となせる眞正ブルガリアン乳酸菌を生活狀態に於て保有するものなり。本品中に含有せらる、乳酸菌は腸中に至り茲に繁殖を遂け乳酸を醸成して腸內の異常醗酵乃至腐敗を防止し蛋白質の消化分解を完全ならしめ同時に適度なる刺戟を腸壁に與へて其分泌、吸收、蠕動の主要官能を旺盛ならしむ、依之諸般の腸疾患を防ぎ進むで腸內容の防制腐に兼て其排泄を迅速ならしむるか爲め新陳代謝順調となり、所謂早老豫防の效果を完ふし得と稱せらる。

**適應症**　異常醗酵性下痢、人工營養兒の消化不良、急慢の腸加答兒、皺腸、常習便秘、腸內有害產物吸收の結果として生ずる蕁麻疹、濕疹等の皮膚疾患、腸性貧血、慢性腎炎肝硬化及蛋白質多食を必要とする諸症例へば肺結核、糖尿病等。

■粉末、錠劑各種あり。■各地有名藥舖にて販賣す ■文獻無料發賣元より贈呈すべし。

本社　東京日本橋區室町三丁目
出張所　大阪淡路町・臺北府後街

**三共株式會社**

婦人衛生雜誌第三百七十六號　大正十四年二月五日發行